

ひろしま環境賞を受賞

日頃の公衆衛生活動が評価

1月23日に広島県庁で第30回ひろしま環境賞の表彰式が開催され、団体として世羅町公衆衛生推進協議会が、個人として大崎上島町公衆衛生推進協議会の梅澤恵子会長が受賞されました。ひろしま環境賞は、地域における環境保全活動や環境に配慮した地域づくりに関して顕著な功績があり、他の模範となる功績をあげた個人又は団体を称えるとともに、県民の環境保全意識の向上や活動の促進を図ることを目的として、平成6年度に創設された表彰制度です。世羅町公衆衛生推進協議会は、小学生や地域住民を対象とした体験型環境学習「水辺教室」や、各地区でウォーキングしながらごみを拾う「ごみ拾いウォーキング」など、地域の小学校や住民を巻き込んだイベント開催や他団体主催イベントとのタイアップなどにより、住民へ環境保全の意識付けを行っています。梅澤会長は、大崎上島町公衆衛生推進協議会会長、大崎上島けんこう文化の島づくり協議会会長として、フェリー利用者を対象としたアイドリングストップ運動や、気になるごみの多い地区を中心にごみを拾う「散乱ごみ追放運動」など、環境保全活動の企画・運営に積極的に貢献し

内窓で遮熱・防音・防犯
持続可能な暮らしにつながる商品紹介

1月22日(水)に、廿日市市地御前市民センターで、廿日市市公衛協主催による地球温暖化防止講座が開催されました。

昨年7月に、同市民センター図書室の窓に、内窓を設置するワークショップを実施しましたが、今回のワークショップに参加していない方にも、内窓の効果を知っていただくために講座を開催しました。

エアコン効率が良くなり、光熱費を削減しながら、快適な図書室となったことを、実際に図書室に設置した内窓を見て、触って、体感してもらうことができました。

講座では、窓の建材製品を開発・提供する、株式会社LIXILの中西謙太氏から、内窓の断熱効果や、防音、防犯効果、国の補助金情報など、お話いただきました。

株式会社LIXILは、トイレやキッチン、バスルームなど、水回り製品を扱う企業として、特に水



内窓について学ぶ参加者(上)、レピアペイブの活用例(下)

の持続可能性を追求されています。例えば、一般家庭内でトイレは使用水量が多く、全体の21%も使用しています。この貴重な水を大切に使うことを考え、強い洗浄力はそのままだから品より大幅に洗浄水量を減らし、地球環境に配慮する「節水型トイレ」などがあります。

この他、「ひろしまスタジアムパーク」内にあるピオトップエリアに、廃プラスチックと廃木材を融合した循環型素材

「レピア」を使用した舗装材「レピアペイブ」を納入されています。建築物の解体などで不要となった廃木材といった廃棄物を資源として有効活用するとともに、廃棄物処理にかかるCO₂排出量の削減に寄与します。「ひろしまスタジアムパーク」に来られた際には、ぜひご覧ください(写真参照)。

私たちの身の回りにある「循環型素材」に関心を持ってみましょう。(脱温暖化センターひろしま)

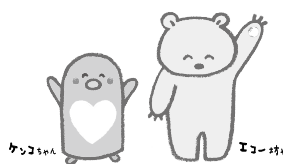
公衛協ブロック会議 開催案内

ブロック	日時	会場
西部・中央	令和7年3月12日(水) 10:00～15:00	広島県公衆衛生会館 6階 講堂
福山・尾三	令和7年3月13日(木) 10:00～15:00	環境協東部支所 3階 大会議室
北部	令和7年3月14日(金) 10:00～15:00	みよしまちづくりセンター ペペラホール

自らも地球温暖化防止活動推進員として地域住民に環境保全の必要性を伝えられています。このような継続的・模範的な活動が評価され、今回の受賞となりました。今後も、環境保全・健康増進に寄与する益々の活躍を期待します。(地域活動支援センター)



右から、世羅町公衛協川上事務局長、大崎上島町公衛協梅澤会長、世羅町公衛協曽我会長、世羅町公衛協村瀬副会長

令和6年度
地区衛生組織活動資金募集

通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、令和6年度で65回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として、地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)43,058,552円
(令和7年1月末実績)

環境協に配分された募金は、以下のような事業に活用しています。

【学習教材貸出事業】

環境づくりや健康づくりに関する各種グッズの貸出をしています。貸出グッズの一覧は、当協会ホームページからご覧いただけます。
(<http://www.kanhokyo.or.jp>)

食品ロス NO カルタ

食品ロスの現状や食品ロスを減らすためのヒントについて、楽しく遊びながら学ぶことができる教材です。



市町別一覧表

※この表は、令和7年1月末日現在、各市町公衛協から募金委員会に報告のあった募金額を記載しています。

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
府中町	1,230,900	85.4
海田町	1,981,635	93.4
熊野町	1,324,760	96.6
坂町	311,914	86.5
江田島市	1,606,600	97.5
竹原市	1,494,300	97.6
大崎上島町	282,500	95.6
大竹市	2,263,960	97.7
廿日市市	3,106,290	94.7
廿日市市大野	2,516,806	99.1
廿日市市佐伯	322,850	109.1
廿日市市吉和	41,300	79.0
廿日市市宮島	185,803	100.8
安芸太田町	634,200	96.0

市町名	募金額(円)	対前年実績比(%)
北広島町	1,002,050	99.9
安芸高田市	1,694,262	86.7
東広島市	4,065,056	96.0
三原市	1,354,674	97.1
世羅町	733,280	98.0
尾道市	4,064,720	95.9
福山市	8,107,640	96.8
府中市	1,001,900	98.4
神石高原町		
三次市	1,550,445	70.8
庄原市	2,120,220	94.2
その他	60,487	103.4
合計	43,058,552	93.8